



2022年11月7日

各位

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
(コード番号: 3612 東証プライム)
問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
(TEL: 03-6887-1300)

第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月9日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

1. 2023年3月期 第2四半期（累計）業績予想数値と実績値の差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益 (親会社の所有者 に帰属)
前回発表予想(A)	百万円 98,800	百万円 3,800	百万円 2,900	百万円 2,300	百万円 1,450
実績値(B)	96,746	4,071	4,078	3,377	2,084
増減額(B-A)	△2,054	271	1,178	1,077	634
増減率(%)	△2.1	7.1	40.6	46.8	43.7
(ご参考) 前第2四半期実績 (2022年3月期 第2四半期)	77,330	△1,907	△2,148	△2,555	△1,210

2. 差異の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の発令はなく、人流の戻りを受けて外出需要の回復が継続しました。加えて、前年とは異なり、商業施設の休業や時短営業のない通常営業を行えたことから、既存店売上は前年より大きく伸長しました。また、前期に完遂した構造改革によるブランド終息や店舗閉鎖が減収要因となった一方で、2022年2月に(株)ナルミヤ・インターナショナルが連結子会社としてグループに加わった増収効果がそれ以上に大きくなりました。

世界的なエネルギー価格の上昇や急速に進む円安による仕入価格の高騰などがあったものの、ミドルアップ業態の国内生産回帰に代表されるサプライチェーン戦略の再構築や、価値価格バランスに応じた最適上代への見直しを行ったほか、店舗とECの両販路でプロパーを重視した販売戦略が功を奏しました。結果として、本業の稼ぐ力であるコア営業利益は、2022年5月9日に公表した業績予想を上回りました。

加えて、当初想定を上回る持分法投資損益の改善や為替予約の時価評価等に伴う差益発生、退店費用等の一時費用・損失の減少などを背景に、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益（親会社の所有者に帰属）の全ての利益段階において、コア営業利益以上に期初予想を大きく上回りました。なお、2023年3月期通期業績予想につきましては、事務所移転の費用や閉鎖店舗の損失などの一部が下期へズレ込むと見込まれるため、2022年5月9日に公表した数値を据え置きます。

以上